

# 社友会だより

## 第 21 号

発行 センツウ社友会  
 住所 千葉県松戸市六高台 2-102-12  
 〒270-2203 長谷川英夫 内  
 編集者 大場省平

### \* 役員会の開催 \*

- 開催月日 平成 21 年 3 月 17 日 (火) 13:00~  
 ○場 所 島嶼会館 (港区浜松町) 会議室  
 ○出席者 法安会長、沖本副会長、佐々木・長谷川・大場・大和田・鈴木 (弘)・崎山の各理事及び清水監事。(中央のみ)

#### ○議事等

##### 1. 報告 (事務局長)

- (1) 会員数: 230 名
- (2) 慶 事: 形部幸雄氏に「米寿」の祝金贈呈。
- (3) 今期総会の会場予約: 7 月 4 日 (土) を予約。
- (4) 郵便振替の住所変更を手続き中。

##### 2. 議事

###### (1) 年会費の改訂

これまで年会費総収入の約半分を占めてきた法人会費が無くなるので、この際思い切って改定する。現行 1,000 円を → 2,000 円に引き上げる。

###### (2) 組織の運営

組織は当面、現行のままとし、更に議論を深める。成行きに任せるのも一つの方策である。会の名称についても現行のままとする。

###### (3) 役員若返り

喫緊、且つ最重要課題である役員若返りによる本会の活性化を早急に図る必要がある。これまで数次にわたり議論は尽くされた。次回役員会までに自薦他薦の候補を持ち寄る。(現行のロートルは駄目)

###### (4) 会則の改定

会社解散に伴う関係事項等を削除・修正、整理する。

###### (5) 総会の準備

役割分担を決め、円滑推進を図ることとした。(本記事の関連は、会報第 19 号「役員会の開催」の議題の頁をご参照下さい。ほぼその延長線上にあります。)

### \* 米寿のお祝い

ありがとうございました。\*

[中央地区 形部幸雄さん]

春浅く、いまだ風が冷たく思われます。ますますご清祥のことと存じます。平素は連絡を怠り申し訳ありません。

さて、この度は私の米寿のお祝いを頂戴し有難うございました。厚くお礼を申し上げます。米寿と申しましたら、アノ人も逝った、コノ人も逝ったと、そんな中で不思議に命永らえてよくぞこれまで生きてこられたものよ、感慨一入であります。

格別養生に気を遣うでもなく、だらだら生きてきた

のに米寿まで生きて来られるなんて、ただ運が良かった、の一語に尽きると思います。

長谷川 (事務局長) さんから電話を頂くまで、正直申しあげて 88 歳とは思ってもみませんでした。

仰せの通り昔流でいえば数年ですもんね。88 歳間違いないありません。こんな訳で米寿の実感はないんですよ。

亡妻が逝ってから早 9 年、二つ年上の姉さん女房でしたが、いいやつでした。私の米寿を喜びあえたのに残念です。頂戴した祝袋は、現金書留の封筒に入れたまま、佛壇にお供えしましてね、これから先いくつまで持つかわかりませんが、その大切なお守りとして大切にしていきたいと思っています。

私は、独居、無言、殆んど門外不出です。長年の習慣で独りでいるのが一番楽しいのだからって意気がっておりますが、なかなかどうして。とは言っても、残りが少なくなった人生を、何とか、今を思い切り楽しく生きることが幸せなのだろうと考えまして、もうひと頑張りしたいものと願っているところであります。

次に会社のことに話を移しまして、センツウがなくなってしまったのですね。とても信じられない悲しい想いです。

退職してから随分になりますが、皇居前の会社・川崎埠頭の会社、今でもはっきり思い浮んできます。

実に家族的で楽しい職場でした。上司も仲間もみんないい人ばかりでした。退職後の会社の変転の激しさには、到底ついては行けないとの思いで見守っていましたが、真底なくなってしまうとは、悲しいです。大ショックです。末筆ながらご健勝をお祈りいたします。

右、書中にてお礼まで申し上げます。 敬具

平成 21 年 3 月 5 日 形部幸雄

### \* 懐かしくなったセンツウの愛称 \*

[関西地区 上中 健さん]

定年して、3 年目をお勤めをさせていただいていますが、東京で 8 年間仕事をさせていただき、たくさんのお客様やドコモの方々とのつながりが今でも連絡を取っており、たまには上京しいろんな人達と楽しい時間を持ったりしています。

これからも、元センツウや元ドコモのお世話になっ



た O B の方々と楽しいひと時が持てれば最高と思っています。

さて私事ですが、東京生活で趣味として「ウクレレ音楽」を行って

おり、会社の人や社外の友人 5 組の結婚披露宴で、挨拶と歌・ウクレレ演奏を披露しました。

楽器演奏のためか、かなり喜んでいただけたようです。

思い起こせば、30数年前の学生時代にギター・マンドリンクラブの活動を行っていたことがあり、コンサート前の練習を兼ねて近隣の施設へ慰問演奏を行った経験があり、大変喜んでいただいたことがあります。

現在ではハワイアン領域にはとらわれず童謡・演歌・フォーク・ポップス・中国語の民謡等いろんなジャンルの歌にチャレンジしています。

まだまだ譜面が少ないので、皆様のなかで譜面を所有されている方が居ましたら、私にコピーで結構ですのでご提供をお願いします。

## \* 家族で冬の久住山にアタック \*

[九州地域 金重 寛さん]

今年もまた親・子・孫(8歳)三代で冬山に挑戦する殊にしてアイゼン、防寒着、非常食等の準備を整え2月8日久住山に出かけました。

早朝午前4時に我が家を出発、途中24時間営業の店で朝食をとりコンビニで弁当を購入していくつもりでしたが、朝食で満腹となり、忘れたことに気付いたときは人里はなれた場所ですすでに手遅れ、幸いイン



スタント麺や、お菓子、ハム等非常食を用意していたし、当日は2月とも思われないほどの好天に恵まれそうなので、そのまま強行することにしました。登山口はあまりメジャーではない、「やまなみハイウェー」から少し奥にはいった「吉部(よしぶ)登山口」を選択、ルートは「暮雨の滝」「坊ガツル」「法華院温泉」「北千里浜」「久住分かれ」を経由して目的地「久住山」を目指すこととし07時30分スタート。途中一つの目標であった「暮雨の滝」の氷爆でしたが、雪や氷も全く無く、春そのものと言った感じの滝でした。さらに標高が上がっても、氷や残雪はあるものの天気予報どおりの晴天に恵まれ、用意したアイゼン等は無用で快適な登山となりました。

「法華院温泉」の山小屋で小休止、お店の人に箸を分けてもらい、ご好意で山小屋特製のゆずの中をくりぬき中に味噌を入れ1年寝かせたものを戴き、山の人の優しさ、純粋さに心をうたれました。



途中噴煙をあげる硫黄山が紺碧の空に浮かび、凍った「北千里浜」の砂礫を踏みしめながら「久住分かれ」に到着。ここから眺める眼下の「硫黄山」「北千里浜」「三俣山」景色は素晴らしく、しばし心が癒されたひと時でした。



これより最終目的地の「久住山」へ後一息、さらに瓦礫の山を登ること30分、12時04分全員無事1,787.7mの山頂へ到着・・・

バンザイ、ここで昼食。お湯を沸かし、インスタント麺を作り、簡易フライパンでハムを焼き、法華院でいただいた「ゆずの味噌詰」をスライスしこれらを肴に持参したビール、日本酒、ウイスキーで軽く乾杯、楽しいひと時でした。

帰りは同一ルートを下り登山口に戻ったのは18時00分、途中休憩はあったものの約11時間の登山でした。帰りは「筋湯温泉」で疲れた体を癒し、帰着は22時、楽しい登山の1日でした。それにしても、私は年々体力の衰えを感じますが、孫が一番元気が良く、子供の成長の著しさに驚かされた1日でもありました。

## ○ 事務局よりのお知らせ ○

会社解散に伴い、社友会事務所所在地を当面下記のとおり変更し運営いたします。(会則変更まで)

### 「社友会事務所」

住所 〒270-2203 千葉県松戸市六高台2-102-12  
長谷川英夫 宅内

電話 090-2526-8753・047-384-6608

## ○ 入会勧奨のお願い ○

日本船舶通信(株)やドコモ・センツウに在職された方で、「センツウ社友会」に未加入の方(現職場関係を含みます)をご存知でしたら、是非、ご入会をお勧め下さいますようお願い申し上げます。

[地域別連絡先]

中央 長谷川英夫 090-2526-8753

〒270-2203 松戸市六高台2-102-12

関西 村上 功 0794-85-9650

〒673-0533 三木市緑が丘町東3-14-1

九州 金重 寛 093-931-3325

〒802-0071 北九州市小倉北区小金1-7-12-701

(地区は問いません、上記何れかの担当者までご連絡下さい。)

## \* お悔やみ \*

入江絢子 様 平成21年4月2日72歳  
謹んでご冥福をお祈りいたします。

次回の発行は8月を予定しています。